



インスピレーションになろう

週報

2018~2019年度 RI 会長 バリー・ラシン

(パハマ、イーストナッソーロータリークラブ所属)

RI 第 2730 地区ガバナー 川原篤雄 (鹿児島サザンウインド RC)
鹿児島県市内ガバナー補佐 B グループ上田耕平 (鹿児島北 RC)
A グループ内倉厚弘 (鹿児島城西 RC)

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 中馬 敏之 幹事 渡海谷 宗宜 副会長 野井倉 洋豪
(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020
(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622
E-Mail info@tounanrc.jp ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2373 回 No.6

平成 30 年 8 月 21 日 (火)

本日のプログラム 会員卓話

田中啓悟会員

第 2372 回例会報告

会長挨拶

会長 中馬敏之



8月5日、日曜日都城のメインホテルで開かれました「ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー」に出席してきましたので、セミナーの内容をお知らせしたいと思います。当日は、野井倉さん、上原さんも出席していただきありがとうございました。昨年に引き続いての出席でしたが、会場は満席で昨年よりも多かったのではないかとの印象でした(資料によると約93名の参加だったようです)。というのも、地区補助金を申請するためには、この補助金管理セミナーに参加することが条件となっており、地区補助金の申請を考えているクラブは必ず参加しなければならないからです。

最初に川原ガバナーの挨拶があり、地区研修リーダーの田中パストガバナーの挨拶があつて、前半がロータリー財団セミナーの説明、後半が補助金管理セミナーの説明でした。

簡単にいうと、前半のロータリー財団セミナーが「寄付をお願いします。」という内容で、後半の補助金管理セミナーが地区から補助金をもらって社会奉仕活動などをしましょうという内容です。

前半のロータリー財団セミナーでは、寄付の種類の説明のほか、南インド 3000 地区におけるグローバル補助金視察報告がありました。資料によると、南インド、タミルナドゥ州 3000 地区が提唱し、2730 地区の延岡東ロータリークラブが協力した事業で、平成 27 年 12 月～平成 28 年 11 月にかけて、82,294 ドルの支援が行われ、救急車両が中型・小型合わせて 5 台購入されたそうです。

救急車両が購入され、医師や看護師が同乗して巡回診療が行われたことで、緊急医療、交通事故、その他の緊急事態に格安で運用することができ、地域住民のニーズに応えることができたとのことでした。

それからポリオ（小児麻痺）についてですが、2018年現在、パキスタンとアフガニスタンで14人が確認されているようです。ポリオは治療法が確立されていないため、ワクチンを接種して予防するという方法が採られています。ポリオを撲滅するためにあと15億ドルが必要といわれています。そのため、本年度は会員一人あたり30ドルの寄付を地区の目標とするとの報告がありました。

寄付に関してはどこかでお知らせすることになると思いますが、今年度は記念すべき50周年記念式典がありますので、これまで寄付された方も始めて寄付される方もぜひご協力いただければと思います。

ゲスト・ビジター紹介

今回はいらっしゃいません。

会務報告

- 来週8月14日（火）は、休会となっております。
- 8月28日（火）は12時～理事会が開催されます。理事の皆様はよろしくご協力いたします。
- 9月18日（火）は親月夜間家族例会です。サンロイヤルホテルにて開催予定です。改めてご案内を回覧ないしお送りいたします。
- 10月13日（土）～14日（日）に開催される地区大会案内のチラシ、ロータリーの友・ガバナー月信各8月号を配布しております。

出席報告

会員数	24名	前々回出席者	13名
出席免除	1名	メイクアップ	4名
出席会員	14名	出席訂正率	73.9%
出席率	60.8%		

スマイル報告

☆上園哲生君一誕生日祝、結婚祝を頂きまして、ありがとうございました。本日で満63歳となります。体の中の部品が少しずつ壊れ始めていますが、修繕をしつつ、夫婦仲良く暮らして行きます。

☆東則秋君一お誕生日祝い、結婚祝いただきました。ありがとうございます。

本日計 8,000円 累計 123,000円

RAスマイル報告 今回はございません。

本日計 0円 累計 200,000円

プログラム委員会 山田委員長

7月23日付でプログラムに関してのアンケートをお願いしてございます。

ご協力よろしくご協力いたします。

本日のプログラム 会員卓話 瀬戸口均会員



私は鹿児島市中山町で生まれ育ちました。家は中山温泉の真正面です。小学校は中山小学校、中学校は谷山北中、高校は鹿児島高等学校を卒業し、大学は鹿児島経済大学社会学部社会福祉学科で福祉関係について学びました。大学は卒業時にちょうど大学名が鹿児島国際大学となり、鹿児島国際大学卒業一期生として卒業しました。

大学卒業後は、海上保安庁に入庁しました。一般に海上保安庁に入るには、広島県呉市にある海上保安大学校を4年で卒業してすぐに幹部となる全国転勤の海上保安大学校出か、京都府舞鶴市にある海上保安学校を1年で卒業し、全国11管区に分かれている管区の一管区内のみで転勤がある海上保安学校出の大きく二種類があり、私は海上保安学校の船舶運航システム課程とって入学時から航海・機関・主計の各コースに分かれて巡視船艇の運航に係る知識・技能を修得する課程の公務員試験に合格しました。鹿児島勤務がある第十管区の航海科を第一希望にしていたのですが、合格通知には瀬戸内海一帯を管轄とする第六管区配属・機関科と記されており、希望とは全然違ったのですが入ることを決めました。

海上保安学校ではパイプベッドが約10個並べられた寝室と勉強机が並べられた自習室に1班10名ほどで1年間の寮生活が待っており、初日の入校式で集まった新入生全員への教官の一声は「やる気のない奴は帰れ！おまえらの代わりはなんぼでもおるんじゃ！」といきなり怒鳴られたのを今で

もよく覚えております。

海上保安学校の生活は、朝の6時25分に起床整列5分前集合場所どこどこ場所を指定され、その放送で起きてすぐにベッドメイクをしてから集合場所へ走っていき、整列後に班ごとの点呼をとり、海上保安体操というラジオ体操に似た体操とちょっとした運動をします。そして朝の掃除を行い、朝食を約10分で終わらせ8時には国旗庁旗の掲揚、その後、課業整列といって各課ごとに分かれて点呼を行い整列行進で授業場所に向かい午前・午後と授業を受けるものでした。授業後はクラブ活動で必ず運動部に所属させられました。17時30分頃に約10分で夕食をとり、その後は洗濯や風呂に入る時間があり、約3時間の自習時間で勉強をした後、掃除をして22時30分には就寝と時間できっちり決められており、この生活を1年続け船内生活に必要な早寝・早起き・早糞の習慣と団体生活を通しての協調性を身につけさせられました。

ここで少し、巡視船・巡視艇について説明をします。巡視船とは、外洋の広範囲な海域での活動に適した比較的大きい船型で巡視艇とは、港内や沿岸などの限られた海域での活動に適した比較的小さい船型です。巡視船の船首に書かれた船名の下には巡視を意味する英語のパトロールのPと大きさの大小を意味するLMSを組み合わせた記号が表示されており、ヘリコプターを搭載する巡視船にはさらにヘリコプターを表すHがついています。船名のつけ方について、ヘリコプター搭載型であるPLHと呼ばれる巡視船は、海峡・水道・山・古い日本の国名が船名として使われ、1000から2000トン型のPLと呼ばれる巡視船は半島・岬・湾・島・海岸・山の名前が使われ、500トン型以下のPMと呼ばれる巡視船は河川・島の名前、200トン型以下のPSと呼ばれる巡視船は、山の名前が使われています。

海上保安学校卒業後、私は第六管区で愛媛県松山市にある松山海上保安部の巡視船いさづの機関士補として配属されました。この巡視船いさづは、PM型の約500トンの船で先程話しましたように、河川や島の名前がついており、いさづは京都府舞鶴市を流れる伊佐津川の名前が由来となっており、もともとは舞鶴にいた船が松山に来たもので、船名と由来を調べてみるのも興味深いものだと思います。

初任地のこのいさづという船は約25人で運航しており、警備実施等強化巡視船という警察という機動隊のようなもので特別警備隊として海上におけるテロ行為やデモ行為、凶悪犯罪の不測の事態に備えけん銃射撃訓練、制圧訓練、

高速ゴムボート操船訓練等に日々励み、船務である機関科職員として船の機関の保守整備、業務である密漁取締等の事件捜査や人命救助及び海洋環境啓発活動等多様な業務に携わり5年半この巡視船いさづに乗船しました。

次に山口県周南市にある徳山海上保安部の巡視艇なちかぜという約20メートルの船への配属となりました。この船は船長・機関長・航海科2名・機関科1名の5名で運航しており、前の船の機動隊のような訓練はなかったのですが、それ以外の仕事は少ない人数で行い、特に密漁の取締を行ってとても忙しかったです。この船には3年半乗船しました。

次は、山口県柳井市にある柳井海上保安署の陸上職員として配属されました。柳井海上保安署は、署長・次長・陸上職員2名と巡視艇1隻、乗組員8名で構成された小さな部署ですが、意外と管轄海域が広く、人身事故や救難関係の仕事が多く休みのたびに事故などで呼び出されて、休みがなかなかとれず一番忙しい部署でした。ここで3年間務めたあと、海上保安庁を退職し、現在の仕事につきました。



今月のお誕生日



おめでとうございます！

東会員、上園会員



地区補助金セミナー報告 上原会員



2020-21年度ロータリー会長にスシル・グプタ氏が選ばれる



国際ロータリー会長指名委員会は、デリーミッドウェスト・ロータリークラブ(インド)所属のスシル・グプタ氏を、2020-21年度国際ロータリー会長に選出しました。対抗候補者がいない場合、同氏は10月1日に会長ノミネーとして宣言されます。

会長指名委員会により2020-21年度国際ロータリー会長に選ばれたスシル・グプタ氏(デリーミッドウェスト・ロータリークラブ所属)

ロータリーの人道奉仕のインパクトを高め、会員基盤の多様化を進めることがグプタ氏の願いです。

「個人でできることには限界があります。しかし120万人ものロータリアンが一致団結すれば、不可能なことなどなく、世界を本当に変えることができるのです」とグプタ氏は声明の中で述べています。

グプタ氏は、Asian Hotels (West) 社の会長 兼 代表取締役社長であり、ハイアット・リージェンシー・ムンバイおよび JW マリオット・エアロシティ・ニューデリーのオーナーです。インドのホテル・レストラン協会連盟 (Federation of Hotel and Restaurant Associations of India) の元会長、インド観光金融公社 (Board of Tourism Finance Corporation

of India) の元理事であり、現在はインドの観光振興を目的とする観光業界とインド政府の官民パートナーシップ Experience India Society の会長、Himalayan Environment Trust の副会長、Operation Eyesight Universal(インド)の理事を務めています。

1977年にロータリークラブ入会。以来、地区ガバナー、研修リーダー、リソースグループ顧問、数々のRI委員会の委員長、副委員長、委員を歴任しました。

水保全への貢献によりジャイプールの IIS 大学より名誉理学博士号を授与されたほか、観光と社会福祉事業における功績が認められ、インド大統領より、社会市民に贈られる賞としてはインドで4番目に高い Padma Shri 賞を受賞しています。

ロータリー財団では、人道的・教育的プログラムへの支援が評価されて特別功労賞を受賞。

ヴァニタ夫人とともに、ロータリー財団のメジャードナーおよびアーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなっています。

★記帳メーキャップ受付。			
月/日	クラブ	例会場	プログラム
8/28	ガバナー補佐訪問	9/4 50周年準備	9/11 米山奨学生 卓話
12時～理事会			
8/22 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	外部卓話
	鹿児島西	山形	クラブフォーラム
	鹿児島西南	ゆうづき	★定款休会
8/23 (木)	鹿児島東	サンデイズイン	夜間例会 18:30～サンデイズイン鹿児島
	鹿児島北	レプラホテル	★18:30～暑気払い例会
	鹿児島サザン カインド	鹿児島東急 REI	クラブフォーラム
8/24 (金)	鹿児島	山形屋	会員卓話
8/27 (月)	鹿児島中央	山形屋	会員卓話
8/28 (火)	鹿児島城西	鹿児島東急 REI	会員卓話 三木靖会員

